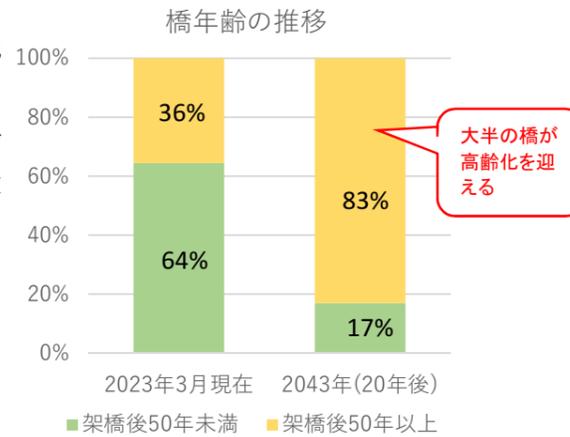


背景・目的

大月町が管理する橋梁は令和5年3月現在で135橋となっていますが、これらの中には劣化や損傷の見られるものや老朽化の目安となる「建設後50年」を経過する橋梁もあり、このままでは突発的な事故等により膨大な補修費用や長期にわたる通行制限による社会的損失が発生することが懸念されます。

これらの橋梁を良好な管理のもとに末永く利用していくためには、定期点検結果などにより橋梁の現状を正確に把握し、点検データを基にした予防的な修繕によって道路ネットワークの安全性・信頼性を向上させ、橋梁の長寿命化および修繕・架け替えに係る費用の削減を図ることが求められています。

そこで大月町では、これまでの壊れてから補修する対症療法型の補修から、**計画的かつ予防的に補修を行う予防保全型補修**へと転換し、計画的な橋梁の補修および架け替えを行っていきます。



計画の策定

大月町では管理する橋梁135橋の内、平成24年に橋長15m以上の20橋を、平成25年（第1次）平成30年（第2次）にはすべての橋梁について長寿命化計画を策定しています。そして今回令和5年には、全橋梁における第3次橋梁長寿命化計画を策定しました。

平成24年度	橋長15m以上の20橋について長寿命化修繕計画策定
平成25年度	第1次 橋梁長寿命化修繕計画策定（全橋梁）
平成30年度	第2次 橋梁長寿命化修繕計画策定（全橋梁）
令和5年度	第3次 橋梁長寿命化修繕計画策定（全橋梁）

橋の点検と管理

これまでの遠方目視点検から、極力構造物に接近し打音等で損傷の有無を確認する近接目視点検へ転換し、わずかな損傷も見逃さないようにしました。

定期点検（5年ごと）

近接目視による橋梁定期点検で橋梁の健全度を把握します。

日常点検（1年ごと）

日常の道路施設パトロール時に合わせ実施します。

緊急点検（不定期）

災害等発生時などにパトロールを実施します。



近接目視による橋梁点検

修繕計画の対象と内容

平成24年度より策定された橋梁長寿命化修繕計画に沿って、これまで16橋で修繕を行ってまいりました。今後平成30年度に策定された計画に沿って順次橋梁の補修、架け替えなどを実施します。



計画的な橋の更新

これまで橋の寿命は50~60年程度と考えられていました。しかし定期的な点検、適切な補修を行うことにより、現在の橋を10年から50年以上延命でき、橋の寿命を100年以上延ばすことも可能と考えています。現在5橋の更新を行っています。

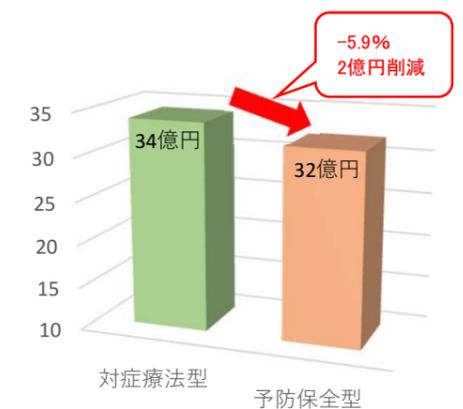


本計画による効果

大月町ではすべての橋梁について今後50年間に必要とされる費用を予測し、橋梁長寿命化修繕計画を策定し事業を進めてまいりました。

そして今回の計画では、前回までの予防保全型維持管理手法をさらに進め、傷みが小さいうちに計画的に補修する手法を行い、さらに事業費の平準化を図るため、計画的な橋の更新を進めるなど、対症療法型管理手法による費用34億円から今後50年間で32億円へと、さらに5.9%のコスト削減が可能となりました。

今後50年間の修繕更新費用の比較



対症療法型

通行不能など大きな損傷が発生したら補修または架け替えを行う。

予防保全型(第2次)

損傷が小さいうちに計画的に補修を実施する。

予防保全型(第3次)

計画的な橋の更新を実施する。